

各位

2024年3月8日
KNT-CTホールディングス株式会社
コーポレート・コミュニケーション部：梅津、岩本
TEL：03-5325-8547

旅行取扱状況の概観（令和6年1月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比64.2%、学生団体は同73.7%、団体旅行合計では同70.3%となった。企画旅行については2018年度比49.2%となった。

この結果、国内旅行総取扱額としては、2018年度比52.6%と2018年度を下回った。

海外旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比63.0%、学生団体は同66.5%、団体旅行合計では同64.1%となった。企画旅行については2018年度比29.3%となった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、2018年度比35.6%と2018年度を下回った。

訪日旅行は、2018年度比89.2%となった。

以上の結果、ホールディングス主要会社の1月の総取扱額は、2018年度比51.2%と2018年度を下回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、能登半島地震への復興支援団体の取扱い等があったものの、職場旅行および観光・親睦旅行の取扱額が減少し、2018年度比64.2%となった。学生団体のうち、修学旅行では、取扱件数が減少し、2018年度比74.7%となった。修学旅行以外の学生団体においては、スキー研修等の取扱い人数が増加したものの、大型団体の取扱いがなく、2018年度比72.5%となった。この結果、国内団体旅行合計では2018年度比70.3%となった。

国内企画旅行については、2018年度比49.2%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、1月上旬に起こった能登半島地震等に起因する予約の取消に加え、新規予約の鈍化が顕著となり、2018年度比39.4%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、ひとり旅が好調に推移したものの、能登半島地震の影響もあり、2018年度比55.4%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、2018年度比52.6%となった。

2. 海外旅行

海外団体では、見本市や報奨旅行、視察・研修旅行などの大型案件が取扱額の数値の底上げをしたものの、企業系コンベンション等の取扱い件数が減少し、2018年度比63.0%となった。学生団体は、修学旅行の取扱い件数が2018年度には及ばず、2018年度比66.5%となった。この結果、海外団体旅行合計では2018年度比64.1%となった。

海外企画旅行については、2018年度比29.3%となった。海外自社企画（フリー型商品）では、商品ラインナップや価格設定が市場のニーズに合わず、依然として販売が低迷。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、ヨーロッパ方面やアジア方面が牽引したものの、2018年度までの回復には至らなかった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、2018年度比35.6%となった。

3. 訪日旅行

訪日団体では、取扱い件数が減少したことと、大型案件の取扱いがなかったことにより2018年度には及ばず、総取扱額とし

ては、2018年度比89.2%となった。

以 上

※前年実績においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け比較対象としては異常値となることから 2018年度との比較にて表記。